

2 フィールド活用型支援事業

本市及び民間施設等を社会実証の場(フィールド)として活用するため、場の提供と課題の整理・解決をするネットワークコミュニティ「Hatch Meets(ハッチミーツ)」を産学官で立ち上げ、先進技術を有する企業等の提案や実証ニーズを実現します。

募集の概要

本市及び民間施設やサービス等を社会実証の場(フィールド)として活用・提供したい企業等を随時募集しています。

■対象

- ① 本市及び民間部門が提供するフィールドにおいて、自社の先進技術を活用した社会実証を実施したい、スタートアップを始めとする企業等
- ② 自社の施設やサービス等を、実証のためのフィールドとして提供したい企業等

■支援内容

マッチングや実証に必要な調整、広報PR、アドバイザーによる伴走型支援等

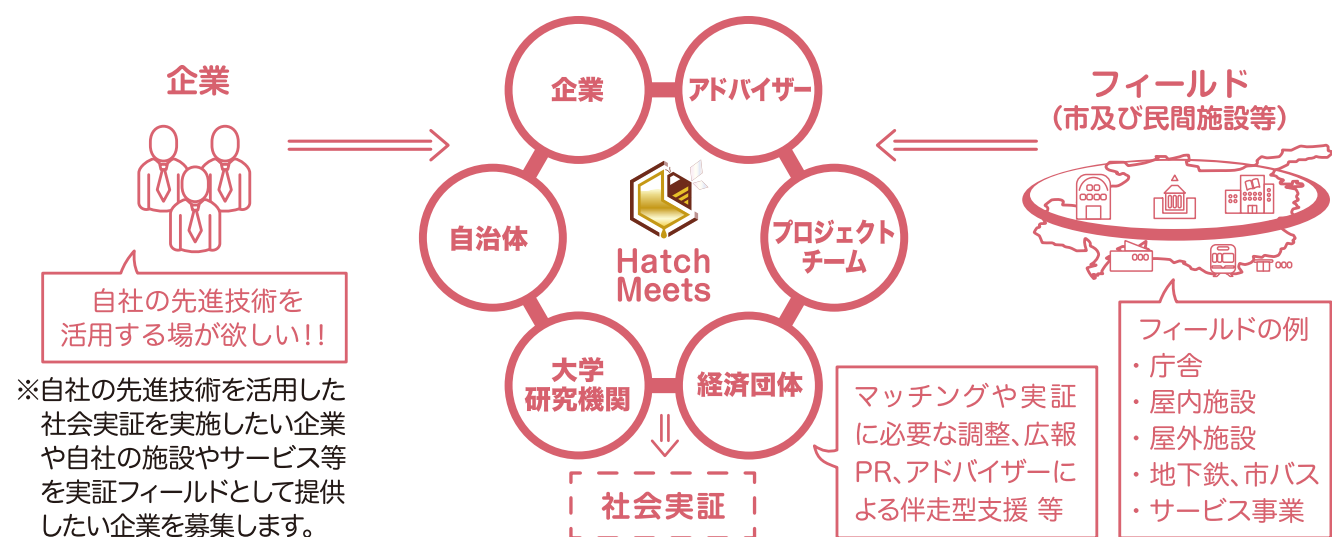
■日程

- 4～2月：マッチング・実証
3月：成果報告

お申し込みはこちらのQRコードから行えます。



事業イメージ



フィールド活用型支援事業フロー



キックオフの映像配信中!

<https://www.youtube.com/watch?v=cLyYIBWUQr4>



先進技術社会実証支援

HATCH TECHNOLOGY NAGOYA

— 2022 —



「Hatch」とは「かえす、孵化する」を意味します。「Hatch Technology NAGOYA」は、先進技術の社会実証を支援することで技術の研究開発や社会実装を促進していくものです。「課題提示型支援事業」と「フィールド活用型支援事業」の2つの事業で構成されています。この名古屋から、先進技術という「卵」を社会実装という形でどんどん「孵化」させていくことを目指します。

事業主体



名古屋市
City of NAGOYA

IoT Acceleration
Nagoya city Lab

名古屋市経済局イノベーション推進部
スタートアップ支援室スタートアップ支援係

☎ 052-972-3046

✉ a3046@keizai.city.nagoya.lg.jp

お問い合わせ先



Urban Innovation JAPAN

運営：NPO法人 コミュニティリンク

✉ urban_innovation_japan@communitylink.jp

1 課題提示型支援事業

本市が提示する行政課題、社会課題(新たにグリーン化及びDXに関する課題を追加)に対して先進技術を活用した解決策を持つ企業等を広く募集し、選定した実証プロジェクトに対する費用の一部負担や実証に必要な調整等の支援を実施します。

行政課題 一覧

U30と行政の距離を縮める広報～新たなコミュニケーション手法を実証したい!

[市長室広報課]



次代を担うU30世代と行政との距離が縮められるような広報手段として、新たなコミュニケーション手法を構築、検証したい。

大規模災害時の電話に迅速に対応したい! 自動音声応答システムの構築!

[スポーツ市民局広聴課]



災害発生時に予想される、市民からの多くの電話での問い合わせに対して、できる限り人員を使わずに、自動音声やAI音声で適切に対応したい。

ベテランの技術を継承したい! 南部市場及びと畜場のスマートファクトリー化

[経済局中央卸売市場南部市場管理課]



過去の機械設備の故障への対応など、と畜場の技能職員のノウハウを可視化し、後継者への伝承のしくみを作ることで、技術者育成が可能か検証する。

粗大ごみ収集ルートの作成をもっと簡単に! 手書き地図からの脱却!

[環境局作業課]



AIを活用して、粗大ごみ収集の申込内容から車両の割り当て、ルートの作成を自動的に行い、タブレット端末などで収集品目の確認もスマートに行いたい。

公務員だってバズりたい! 消防局公式 SNS の効果検証

[消防局総務課・市長室広報課]



消防局のSNSによる広報で、どのような時に反響が大きくなるのか、効果的な利用につなげるとともに、そのノウハウを市役所全体に広め、SNSの広報効果を高めたい。

課題説明会

- 2022年6月27日(月) 16:00~18:00
- オンライン

説明会の詳細・申込はコチラ

<https://www.hatch-tech-nagoya.jp/solution/>

ハッチテック名古屋 検索

(過去の事例もご覧いただけます)



過去の社会実証例

XR 技術を活用してコロナ禍でも臨場感ある 上下水道工事地元見学会を実施したい!

実証事業者：株式会社スピード
市担当部署：上下水道局建設工事事務所

解決したい課題

上下水道工事への理解を深めていただく貴重な機会である地元見学会を、昨今のコロナ禍により、これまでのように実施できなくなっている。

実証内容

いつでもどこでも工事現場の臨場感を体験できるXR 技術を活用した工事現場の映像により、上下水道工事に対する理解やお客さまの満足を得られるか検証した。



募集の概要

対象

先進技術を活用した解決策を持つスタートアップを始めとする企業等

支援内容

費用の一部負担<行政課題4件70万円、社会課題4件(グリーン化1件、DX1件、一般2件)400万円上限>、実証に必要な調整、イベント等におけるPR、大学・研究機関等における技術相談の斡旋等

期間

2022年
6月10日(金)~7月10日(日)

日程

7~8月：審査・選定
8~2月：実証
3月：成果報告

社会課題 一覧

堀川に浮かぶごみをなくしたい! 川ごみのメカニズム解明と対策の実証

[グリーン化]

[緑政土木局河川計画課]



AI搭載カメラやGPSを使用して、発生源を特定やごみが集まるメカニズムを解明し、回収の自動化や市民活動につなげ堀川の浄化を実現したい。

緑の価値や効果を可視化して、緑のまちづくりを推進したい!

[グリーン化]

[緑政土木局緑地事業課]



緑の価値や効果(ウェルビーイング、人流、地価、購買意欲など)を数値化し、データとして示すことで市民や事業者の緑化への投資を促したい。

地域活動をアップデート! デジタル技術を活用し、持続可能な地域コミュニティを実現したい!

[DX]

[スポーツ市民局地域振興課]



デジタル技術を使って地域活動が楽しく感じられるよう、地域活動負担軽減につながるようなサービス・体験を通じ、未来の地域コミュニティ活動を実証したい。

ひとり暮らし高齢者の孤独死を減らしたい! 早期異常発見ツールの実証

[DX]

[千種区役所福祉課]



センサーやスマートメーターを活用して、過去に自宅で倒れた高齢者の実例から、電気使用量で不自然な点をAIに学習させて、倒れた高齢者を少しでも早く発見できるようにしたい。

画像解析によるまちの防犯環境向上 ~スマホ de 防犯診断~

[スポーツ市民局地域安全推進課]



生活道路・通学路や公園などの画像をAIで解析。防犯上の危険箇所を特定して改善対策の提案につなげ、犯罪被害を減らしたい。

「青果物流通の標準化」を見据え、効率のよい 場内物流モデルを作成したい!

[経済局中央卸売市場本場業務課]



市場内にトラックや荷物の動きを把握するカメラやセンサーを設置し、映像・画像データを解析した結果をもとに、新たな場内物流モデルを作成したい。

市民の野菜不足を解消したい! 行動変容を生み出す栄養管理ツールの開発

[健康福祉局健康増進課]



日常生活の中で手軽に自分自身の野菜摂取量を知ること、野菜摂取への意識や行動が変化するか、また継続的に実施することで、野菜摂取量を国の目標数値まであげられるか検証したい。

待ったなしの部活動改革! 子どもたちの成長と 教員負担の軽減を両立したい!

[教育委員会部活動振興室]



部活動に携わる教員の負担を軽減するため、より少ない指導者・より短い練習時間で効果的な指導を行えるようにICTの活用を図りたい。